



玉井大翔選手 横尾俊建選手が 日高町の応援大使に！



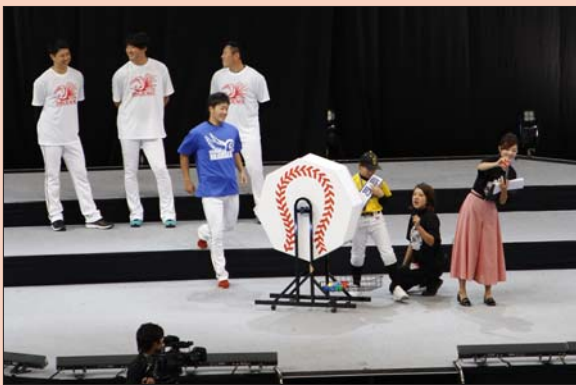
北海道日本ハムファイターズの選手が北海道内の市町村で地域の方々と交流を図りながらまちづくり・まちおこしに寄与していく「北海道179市町村応援大使」2019年の対象市町村に日高町が選ばれました。11月24日には、札幌ドームで開催された「ファンフェスティバル2018」内で抽選会が行われ、玉井大翔選手、横尾俊建選手が、2019年の日高町応援大使に決定しました。



#54 たまい たいしょう
玉井 大翔
年齢 26歳
ポジション 投手
出身地 北海道佐呂間町



#58 よこお としたけ
横尾 俊建
年齢 25歳
ポジション 内野手
出身地 東京都



玉井選手と抽選した飯泉さん

11月24日に札幌ドームで開催された「ファンフェスティバル2018」に町内のJBC日高ブレイヴから5名の児童が参加し、各市町村の応援大使を決める抽選会では、チームを代表して飯泉百華さん（門別小5年）が特設ステージでくじを引き、2019年の日高町応援大使となる両選手が選ばれました。

また、12月10日に球団担当者が役場を訪問され、応援大使となった両選手の等身大パネルとサイン入りユニフォームが贈呈されました。受け取った大鷹町長は、「待望の応援大使が決まってくれてうれしい。今後、大使になってくれた選手とどのように町を活性化、PRしていけるか考えていきたい。また、大使になってくれた選手に対しても日高町として応援していきたい。」と話しました。

©H.N.F.

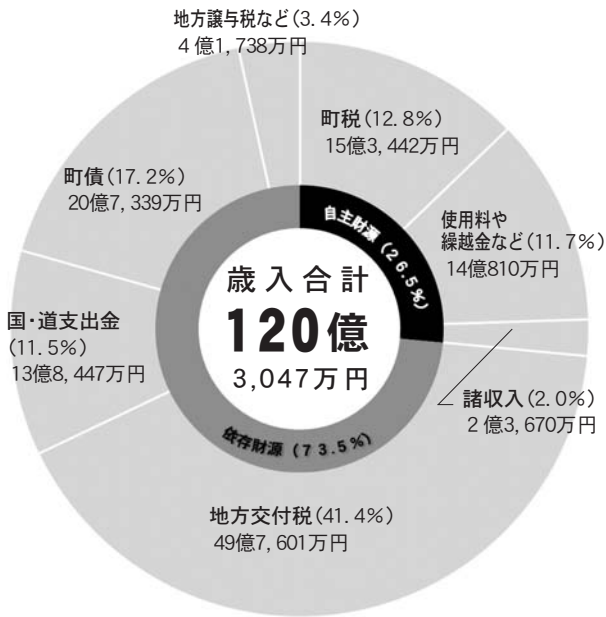
決算報告

11月15日、19日、20日に開催された町議会において、平成29年度の決算が認定されました。日本経済は緩やかな回復基調にあり、一人あたり賃金が緩やかに増加する中で、個人消費も緩やかに持ち直しています。町の財政運営としては、財政の健全化の確保に留意し、国・道の補助金などを有効活用した予算の執行に努めました。

※端数処理・計算を万単位で行っているため、決算説明書と一致しない場合があります。

一般会計歳入

一般会計120億3,047万円(前年比9億6,812万円増)
 自主財源比率26.5%(前年比2.3ポイント増)



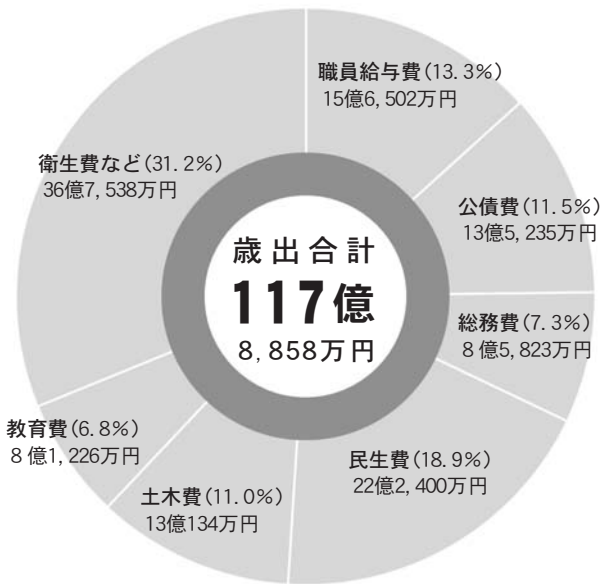
町の一般会計の歳入は120億3,047万円、町債等の増加により、前年比9億6,812万円の増となりました。

また、町税などの自主財源比率は、26.5%で前年の24.2%から2.3ポイント増加し、町税や使用料、手数料等による実際の収入額は、22億1,924万円、前年から800万円増加しています。

依存財源の中で最も多い割合を占めているのが地方交付税(49億7,601万円)で、歳入の41.4%を占めています。

一般会計歳出

一般会計117億8,858万円(前年比9億9,802万円増)
 民生費が22億2,400万円と歳出の18.9%を占める



一般会計の歳出総額は117億8,858万円となりました。目的別に見ると、民生費が22億2,400万円(18.9%)で最も多く、続いて職員給与費が15億6,502万円(13.3%)、借金返済のための公債費が13億5,235万円(11.5%)、土木費が13億134万円(11.0%)で、この4項目で歳出額の54.7%を占めています。

平成29年度の主な事業は、災害復旧事業で13億9,113万円、門別わかば保育所及びもんべつ児童館新築事業で3億3,230万円、防災行政無線(同報系)デジタル化(更新)事業で3億1,904万円となっています。

区 分	平成29年度決算額	平成28年度決算額	前年比
職員給与費	15億6,502万円	15億7,599万円	▲0.7%
公債費	13億5,235万円	13億1,180万円	3.1%
総務費	8億5,823万円	8億5,023万円	0.9%
民生費	22億2,400万円	19億4,907万円	14.1%
土木費	13億134万円	13億4,390万円	▲3.2%
教育費	8億1,226万円	8億5,881万円	▲5.4%
衛生費など	36億7,538万円	29億76万円	26.7%
合計	117億8,858万円	107億9,056万円	9.3%